

「消されかけた高校演劇」『明日のハナコ』《リーディング上演》

明日のハナコ

◆作 玉村徹 ◆上演台本 丸尾聡 ◆演出 大島寛史

7 / 16 [土] イーブルなごやホール

午後2時 (開場1時半、3時半終了)

◆出演
齋藤沙紀 (劇団新派)
江花実里 (架空畳)
大島寛史 (チリアクターズ)
丸尾聡



トーク



玉村徹

(元福井県立福井
農林高等学校演劇部顧問)



丸尾聡

(作家・演出家・俳優)

●入場料 (前売り)

1,500円 (学生、障がい者 500円)

チケット購入のお問い合わせ:

ashitanohanakoinnagoya@gmail.com

主催: 「表現の不自由展、その後」をつなげる愛知の会
上演: オフィスプロジェクトM

この劇は2021年9月の福井県高校演劇祭で、
福井農林高校演劇部によって上演されましたが、
その後、映像を残すことも、脚本を読むことも禁止され、
マボロシの舞台にされてしまいました。

いったいなぜ、『ハナコ』は
禁止されたのでしょうか？

『明日のハナコ』あらすじ

舞台はある高校。「ハナコ」たちは今度上演する劇の稽古をしている。
その劇は、1948年の福井震災から始まって現在までの歴史をたどるものだった。
学校のこと、仕事のこと、戦争のこと、原発のこと、未来のこと…
彼女たちはさまざまなことを考え、そして成長していく。

●プログラム●

- 14:00~ 「明日のハナコ」リーディング上演(50分)
- 14:50~ 休憩&片付け
- 15:00~ トーク (30分)
- 15:30~ 終了

玉村徹 元福井県立福井農林高等学校演劇部顧問。前福井県高等学校演劇連盟委員長。
定年退職して2021年度は部活動指導員として福井農林高校演劇部の活動に関わる。
昨年まで全国高等学校演劇協議会局員として、全国大会における生徒講師委員会活動を指導。顧問として書いた創作脚本は50本以上。

丸尾聡 作家・演出家・俳優。オフィスプロジェクトM代表、戯曲『飯綱おろし』『雑宮のタルト』『死刑執行人』(以上テアトロ掲載)。ラジオドラマシナリオ『残置物処理班』でABU(アジア太平洋放送連合)ラジオドラマ部門最優秀賞。シナリオ『羽州ぼろ蕎麦』シリーズなど。俳優としての活動も多い。今年、3月『明日のハナコ』の東京神奈川で初の上演を行った。また7月に東京での再演、10月には沖縄の演劇人が参加しての公演がある。



「表現の不自由展、
その後」をつなげる
愛知の会は…

2019年、名古屋で開催された「あいちトリエンナーレ」の企画展「表現の不自由展、その後」が妨害によって中止された時、再開を求める市民たちによって結成された団体。

2021年、市民の力での展示会を開催したが、再び妨害により2日で中止となる。

2022年、失われた4日間の展示会を取り戻すための取り組みを続けている。

7月16日(土) 午後2時(開場1時半)

イーブルなごや2階ホール(名城線東別院駅1番出口徒歩3分)

●入場料(前売り)
1,500円(学生、障がい者 500円)
チケット購入のお問い合わせ:
ashitanohanakoinnagoya@gmail.com

*コロナ感染状況により、入場制限される場合があります。